

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：石川県における災害に強く安全で質の高い住環境づくり(第2期)

地方公共団体：石川県、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、白山市、かほく市、能美市、野々市市、川北町、津幡町、内灘町、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①関連する計画(住生活基本計画等)との整合性が確保されている。	○
②地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
③地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
④緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 (該当するものに○) ㊦ 安全面、衛生面等の居住環境の改善 ㊧ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保 ㊨ 既存住宅ストックの有効活用 ㊩ 地方定住の推進 ㊪ 住宅・建築物の安全・安心確保 ㊫ 良好な住環境の整備 キ 地域の特色ある街並みの整備	○
II. 計画の効果・効率性	
①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
④事業の実施に当たり、福祉施策等との連携、民間活力の活用等が図られている。	○
⑤地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
III. 計画の実現可能性	
①事業熟度が十分である。	○
②計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
③計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	○
④計画期間中の計画管理(モニタリング)体制が適切である。	